

平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月29日

上場会社名 株式会社コロプラ 上場取引所 東  
 コード番号 3668 URL http://colopl.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)馬場 功淳  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)土屋 雅彦 (TEL)03(6721)7770  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第1四半期の業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	11,073	301.9	4,887	465.1	4,887	457.7	2,769	455.1
25年9月期第1四半期	2,755	—	864	—	876	—	498	—

  

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年9月期第1四半期	23	38	21	86
25年9月期第1四半期	4	57	4	51

- (注) 1. 当社は第1四半期の業績開示を平成25年9月期より行っているため、平成25年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
 2. 当社は平成24年12月13日に東京証券取引所マザーズに上場したため、平成25年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成25年9月期第1四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。  
 3. 当社は平成25年6月1日付で1株を5株にする株式分割を行っております。また、平成25年10月1日付で1株を3株にする株式分割を行っております。なお、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年9月期第1四半期	百万円 17,168	百万円 10,660	% 62.1
25年9月期	13,762	7,876	57.2

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 10,660百万円 25年9月期 7,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	168.4	18,000	213.3	18,000	211.0	10,000	216.8	84.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期1Q	118,630,500株	25年9月期	118,381,500株
26年9月期1Q	125株	25年9月期	—株
26年9月期1Q	118,464,375株	25年9月期1Q	109,097,804株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 平成25年6月1日付で1株を5株にする株式分割を行っております。また、平成25年10月1日付で1株を3株にする株式分割を行っております。このため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策への期待感から円高の是正や株価の上昇が進み緩やかな景気回復傾向にあるものの、海外における経済不安や平成26年4月に予定されている消費税率引き上げの影響等を受け、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような中で、スマートフォンの契約数は順調に推移しており、当社が属するスマートフォンゲームアプリ市場も引き続き成長を続けております。

当社におきましては、市場拡大を背景に引き続き既存タイトルの拡大と新規タイトル投入に注力してまいりました。売上の多くを占めるオンラインアプリでは、テレビCMの放映を背景に幅広い年齢層からの支持を受け、前事業年度に提供を開始いたしました「クイズRPG 魔法使いと黒猫のウィズ」「軍勢RPG 蒼の三国志」といった既存タイトルが売上の拡大に寄与いたしました。また、新作オンラインアプリとして、平成25年10月に「一瞬のスキマX」、12月には「アクションRPG 戦国かぶき道」をリリースし、平成25年12月末時点でのオンラインアプリの累計提供本数は10本となりました。

また、集客を目的とするライトゲームアプリブランドである「Kuma the Bear (クマ・ザ・ベア)」では、当第1四半期会計期間に11本の新作を投入し、平成25年12月末時点でのライトゲームアプリの累計提供本数は62本となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は11,073,594千円（前年同四半期比301.9%増）、営業利益は4,887,185千円（同465.1%増）、経常利益は4,887,636千円（同457.7%増）、四半期純利益は2,769,296千円（同455.1%増）となりました。

なお、当社はモバイルサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は14,784,328千円となり、前事業年度末に比べ2,076,573千円増加いたしました。これは主に、売掛金の増加（前事業年度末比2,445,369千円増）によるものであります。

また、固定資産は2,383,954千円となり、前事業年度末に比べ1,328,832千円増加いたしました。これは主に、資金決済に関する法律に基づく供託による敷金及び保証金の増加（前事業年度末比1,372,464千円増）によるものであります。

以上の結果、総資産は17,168,282千円となり、前事業年度末に比べ3,405,406千円増加いたしました。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は6,429,346千円となり、前事業年度末に比べ620,874千円増加いたしました。これは主に、未払金の増加（前事業年度末比599,919千円増）によるものであります。

また、固定負債は78,152千円となり、前事業年度末に比べ291千円増加いたしました。

以上の結果、負債合計は6,507,498千円となり、前事業年度末に比べ621,166千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は10,660,783千円となり、前事業年度末に比べ2,784,239千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加(前事業年度末比2,769,296千円増)によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、当第1四半期累計期間の業績を踏まえた見直しを行いました結果、平成25年11月6日発表の「平成25年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載した通期業績予想を上方修正することといたしました。

なお、別途、平成26年1月29日に「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を開示しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3 【四半期財務諸表】  
(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,317,259	7,810,480
売掛金	3,891,860	6,337,230
たな卸資産	7,850	6,340
その他	492,234	631,791
貸倒引当金	△1,449	△1,514
流動資産合計	12,707,754	14,784,328
固定資産		
有形固定資産	171,298	161,941
無形固定資産	125,038	90,757
投資その他の資産	758,784	2,131,254
固定資産合計	1,055,121	2,383,954
資産合計	13,762,876	17,168,282
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	2,375,644	2,975,564
未払法人税等	2,658,219	2,118,210
賞与引当金	—	60,748
その他	774,606	1,274,821
流動負債合計	5,808,471	6,429,346
固定負債		
資産除去債務	77,861	78,152
固定負債合計	77,861	78,152
負債合計	5,886,332	6,507,498
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,582,779	1,590,418
資本剰余金	1,579,580	1,587,219
利益剰余金	4,714,186	7,483,483
自己株式	—	△341
株主資本合計	7,876,546	10,660,779
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2	4
評価・換算差額等合計	△2	4
純資産合計	7,876,544	10,660,783
負債純資産合計	13,762,876	17,168,282

(2) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	2,755,106	11,073,594
売上原価	1,380,369	4,744,640
売上総利益	1,374,736	6,328,954
販売費及び一般管理費	509,955	1,441,768
営業利益	864,780	4,887,185
営業外収益		
受取利息	433	266
為替差益	26,576	—
雑収入	16	189
営業外収益合計	27,026	456
営業外費用		
株式交付費	13,343	—
為替差損	—	5
雑損失	2,000	—
営業外費用合計	15,343	5
経常利益	876,464	4,887,636
税引前四半期純利益	876,464	4,887,636
法人税等	377,580	2,118,340
四半期純利益	498,883	2,769,296

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、モバイルサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。